<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

農業土木の専門家として、就農者の支援を長年に亘り継続してきた中、新たに取り組んでいる『走行式圃場内石礫破碎施工』が造成農地の除礫施工法として認知され始め、重点的に取り組む。
水害等被災農地の早期復旧や増加する荒廃農地・耕作放棄地の整備と並行して、農業の生産性向上と稼げる農業を支援する。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☑ 環境 □ 社会 ☑ 経済	新たに取り組んでいる『走行式圃場内石礫破碎施工』に重点をおき、水害等被災農地の早期復旧と荒廃農地の解消整備、造成農地の除礫施工により、農業の持続的発展を支援する。	施工面積の増加 2023年度実績23.2ha ⇒ 2026年度目標100ha
□ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	従事者の講習等受講機会を確保し、各種資格等の取得や優遇を通じて離職率の減少と雇用増進を行う。	新規雇用者数 2022年度 2名 2023年度 1名 ⇒ 2026年度までに3名を新規雇用 資格取得 2026年度 8名 更新研修受講者 延べ16資格
☑ 環境 ☑ 社会 □ 経済	県農地海岸等環境美化保全活動及び所属団体等主催清掃活動への参加を通じて、海洋ごみの削減と周辺環境の改善に取り組んでいる。	年間平均活動回数 2023年度 2回 ⇒ 2026年度 3回

<パートナーシップ>

- ・BCP策定と事業承継を機会として、ステークホルダーとの連携の強化を再確認した。
- ・ホームページの改修時期に合わせて、SDGsへの取組みを周知広報する。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☑ 環境 □ 社会 ☑ 経済	・当社独自工法『走行式圃場内石礫破碎施工』による水害等被災農地の早期復旧に取り組む中で、中山間地造成農地の石礫破碎に参画を要請され、農地生産性向上の分野に貢献している。	施工面積の増加	令和3年度 4.15ha 令和4年度15.72ha 令和5年度23.20ha
□ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	・男女に拘らない雇用の推進と従事者の研修機会確保並びに各種資格取得の実現に積極的に取り組んだ。	・雇用者の増加 6名 ⇒ 10名 ・研修受講の人数6名 ・各種資格の新規取得者の増加数 6資格	・雇用者の増加⇒9名 <起業を希望して1名が退職> ・資格取得従業員数 8名-延べ23種資格
□ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	自動操舵トラクター及び関連機器を購入し、省力化に努めると共に、働き方改革を推進した。	機械等の購入額 3年間平均 2,000万円	機械等の購入額 3年間平均 3,467万円

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。